

## 東北支部「臨時会議」と「新春の集い」

# 「危機的な状況に団結して」呼びかける

日遊協東北支部は2月15日、「臨時会議」及び「新春の集い」を開催した。



初めて新事務所で開いた「臨時会議」であいさつする谷口東北支部長（右端）



あちこちで歓談の輪ができた「新春の集い」

「臨時会議」は昨年11月に引越した新事務所で開かれ、谷口久徳支部長以下会員14人、本部から篠原弘志専務理事、伊東愼吾常務理事、佐藤千治事務局長が出席した。谷口支部長は「最近エンビズ総研が発表したデータにもある通り、ホールをはじめ現在の産業の状況は、顧客の減少など危機的な状況に置かれています。ホールがどうのメーカーがどうのではなく業界全体が団結して遊技機問題や低貸玉営業などに対処する必要があり、微力ながら東北支部も日遊協と一緒に顧客目線の対策に取り組んでいきたい」と挨拶した。支部会員の現状、講習会、ボランティア隊対応の12年度活動が報告され、今後の取り組みとして支部会員の拡大、防災林復興への参加、セミナーの開催などが挙げられた。篠原専務理事からは、最近の風営法上の問題、各地で起こっている出来事の問題、法人化、プロジェクトチーム発足など日遊協本部

の施策が具体的に報告された。

## 県遊協幹部が勢ぞろい

場所をパレスへいあんに移して「新春の集い」が54人の参加で開かれ、来賓として宮城県遊協・竹田隆理理事長、山形県遊協・井上静夫理事長、福島県遊協・吉川永造理事長、岩手県遊協・秋山照明理事長、青森県遊協・菅原正専務理事、

東北遊商・高橋一則理事長、回胴遊商・村山剛東北支部長らが出席した。竹田理事長が「産業界は憂慮される事態にあると言える。このような時こそ、横断的組織である日遊協が重要な役割を担っている。私達も日遊協東北支部の方たちと一緒に進んで参りたい」と祝辞を述べた。懇親会はあちこちで談笑の輪ができ、和やかに進んだ。

## 中国・四国支部が研修会

# 風営法について学ぶ 専務講演と警察庁講話

中国・四国支部は1月31日、広島市のホテルセンチュリー21広島で風営法等研修会を開き後藤信行支部長以下41人の会員が参加した。後藤支部長の開会のあいさつの後、成光一夫事務所長が平成24年度12月末事業推進状況および支部活動の活性化、会員拡大方策などについて報告した。

本部の篠原弘志専務理事が「業界を取り巻く諸情勢について」と題して、行政当局の動向、大阪府交野市の判決、消費税、カジノ法案などについて講演した。中国管区警察局・上岡藤則広域調整第1

課長の挨拶のあと広島県警察本部長生活安全全部生活環境課・三戸田信幸課長補佐が「遊技業の健全営業」と題して講話を行った。研修会終了後、新年互礼会が開かれ、にぎやかに会員同士の親睦を深めた。



◀講演する篠原専務(左から2人目)

東京都・関東支部役員会

総会の内容詰める 大久保和孝氏の講演など

東京都・関東支部（庄司孝輝支部長）は2月7日、日遊協本部会議室で役員会を開き、3月18日に新宿のハイアットリージェンシー東京で開催される同支部総会について詰め作業を行った。総会では、公認会計士・公認不正検査士の大久保和孝氏（新日本有限責任監査法人CSR推進部長）が「危機管理と競争戦略としてのコンプ



支部総会開催で最後の詰めを行った東京都・関東支部役員会

ライアンスへの向き合い方」と題して講演するほか、行政講話、「遊技機アワード2013」表彰式が予定されている。新年度事業として、東日本大震

日遊協正副会長会議 諸問題を列挙、整理

遊技産業活性化プロジェクト



遊技産業活性化プロジェクト等で協議した正副会長会議

災の津波で被災した青森県千葉県の海岸防災林約140kmを復活させる「みどりのきずな再生プロジェクト」（林野庁）への植林参加、今年が4年目となる皇居勤務奉仕活動（9月24〜27日予定）への参加、10月ごろ予定のチャリティゴルフコンペ等について協議した。

日遊協正副会長会議が2月27日、日遊協本部会議室で開かれ、遊技産業活性化プロジェクトで取り上げる項目について意見を交換した。遊技機、経営等に関わる諸問題が列挙され、その中から早急に絞り込みを行うことになった。同プロジェクトは、業界の危機的状況を打開するため、さる1月の第5回定例理事会で提起され、設置が承認された。

また、業界の社会貢献活動について討議され、現在団体や企業単位で多種多様な形で行われているが、統一感がないために社会に向けての印象が薄いことから、「遊技産業の社会貢献活動」をもっと強くアピールするため、統一したロゴマークの作成が提案された。例えば、寄付する車椅子に統一ロゴマークのステッカーを貼るなど、個々の活動の中でロゴマークを登場させる。パチンコ・パチスロ産業界21世紀会などで提案していくことを確認した。

3月の行事予定

1日 (金)	14:00~15:00	パチンコインターネット広告協議会
4日 (月)	13:30~15:30	リサイクル推進委員会 (日工組)
7日 (火)	10:00~17:30	店長・管理職能力開発講習・試験
8日 (金)	15:00~17:00	遊技機委員会
11日 (月)	13:30~14:30	不正対策室会議
12日 (火)	13:30~15:00	中古機流通PT
	15:30~17:30	景品関連促進PT
13日 (水)	12:00~18:00	人材育成フォーラム
14日 (木)	11:00~13:30	ECO遊技機説明会
	13:30~16:00	第6回定例理事会
15日 (金)	14:30~	登録資格審査委員会
	16:30~17:30	記者会見
18日 (月)	13:00~19:30	東京都・関東支部総会 (ハイアットリージェンシー東京) 遊技機アワード2013 (ハイアットリージェンシー東京)
19日 (火)	15:00~17:00	風営法PT
21日 (水)	15:30~17:30	広報調査委員会
22日 (木)	15:30~	社会貢献・環境対策委員会
26日 (火)	15:00~17:00	セキュリティー対策委員会

MARCH

## 「第2保通協」が誕生

# 指定試験機関に追加 一般社団法人遊技機試験機構

国家公安委員会は、遊技機の型式試験業務を実施できる指定試験機関に一般社団法人遊技機試験機構（山本恵理事長）を追加した。指定試験機関を決める「風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律第20条第5項」に基づき、同機構が新たに追加されたもので、2月4日付けの「官報」に公布された。

現在まで型式試験は一般財団法人保安通信協会（保通協）の独占

事業となっていたが、いわゆる「第2保通協」として一般社団法人遊技機試験機構が加わることになった。

しかし、業務を始めるためには今後、試験事務規程等を整備し都道府県各公安委員会の委託を受けることが必要で、実際の運用はその後になる。

同機構の所在地は、愛知県名古屋市長原3-9-12で、名古屋試験場の所在地も同じ。

## 産業各界に「提案」発表「PTB有識者懇談会」

一般社団法人パチンコ・トラスティ・ボード（PTB）は2月14日、東京・銀座の同法人会議室で記者会見を開き、「PTB有識者懇談会」（座長・和田裕（株）日本イノベーション社長）がまとめた「有識者メッセージ」を発表した。

メッセージでは、パチンコをめぐる社会的環境や課題を挙げた上

で、国民の信頼を高めるための方策として、ホール、遊技機メーカー、監督官庁向けに提案を行った。ホールには、「初心者や未経験者のための遊び方等の解説本を作り普及させる」「パチンコに関するあらゆる疑問、質問（業界の歴史、市場、団体、専門用語等）について、ネット利用などで国民に周知

する」等、遊技機メーカーには「ゲームの透明性を高める」「初心者、未経験者、高齢者等のために昔のチューリップのような原点回帰台を普及させる」「安価な台の開発」等、ホール・遊技機メーカー双方には「依存・幼児の放置問題の対策立案」等をそれぞれ挙げている。監督官庁に対しては「業界への指導・協力体制を一般に公開し、基本的事項は法律で定め、細則も審議会など公開討議の中で決定する」「地域的にばらばらの裁量行

政を払拭する」「換金の合法化の方向性を打ち出し国民の合意を取り付ける」等——となっている。PTBは「社会に信頼と安心を提供できるパチンコホール経営を確立する」ことを目的に2006年に確立された。有識者懇談会は過去3回のメッセージを発している。

今回の懇談会メンバーは、ネット企業代表、大学教授、弁護士、公認会計士、元大使など12人で構成されている。

## 脳の活性化を測定 プロバが

広島市を中心にパチンコホールなどの娯楽施設を展開しているプロバグループは、このほど介護

福祉支援事業に本格参入することになり、1月23、24日に同市内のデイサービス施設「おかえり」で、脳科学者の篠原菊紀教授（諏訪東京理科大学）を招いて公開イベント「脳のリハビリテーション内覧会」を開いた。遊び（ゲーム）による脳の活性化を介護・福祉分野に取り入れようという試みで、会場にはパチンコ機、パチスロ機、ルーレット、カードゲーム台が設置され、参加者たちはゲームを楽しみながら脳波測定を行った。



パチンコを楽しみながら脳波を測定中

貯玉補償基金理事会

基本拠出金を20万円に

4月実施、追加拠出金も減額

一般社団法人貯玉補償基金（代表理事・深谷友尋日遊協会長）は2月6日、日遊協本部会議室で開かれ、9つの議案を審議した。

「拠出金拠出要項見直しの件」

が審議され、1加盟店毎の基本拠出金を「40万円」から「20万円」に減額し、「貯玉残総金額800万円を超える毎の追加拠出金40万（契約法人単位）」を「同500万円を超える毎に20万円（同）」とすることを承認した。この決定は、現況のホール営業の厳しさ、今後想定される新規加入ホールの小規模化を考慮したもので、2013年4月から実施される。

そのほか「セクタ事業者資格要件の一部改正」「事業会費の充当割合決定」「(有)P・S・ONEの補償実施結果確認」「(株)和光商事の補償実施結果確認」「三和興産(株)の補償実施結果確認」「東日本大震災ホール（6店舗）の補償終了」「平成25年度総会・理事会日

程」「貯玉補償基金広告掲載」の件もそれぞれ承認された。

報告事項として「加盟状況」「資金運用」「事務処理規約の一部改正」などがあつた。

セキュリティ対策委員会

日工組が全体図提案

現行CR機の機歴管理

第68回セキュリティ対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）は2月26日、日遊協本部会議室で開かれた。パチンコ遊技機の出荷から廃棄までの履歴情報をインターネット回線で日工組の機歴管理センターに集中させ一元管理する、新たな「機歴管理システム」に関し、日工組から現行CR機についての機歴管理の全体図が提案された。

機歴管理システムへの登録は、  
①遊技機メーカーからの出荷情報  
②ホールからの設置情報  
③ホールからの撤去情報  
④販社からの

中古移動情報  
⑤処理会社と遊技機メーカーからの廃棄情報——の5種類あり、この日は④⑤についての運用ルール案が提案された。

④の中古移動情報については、全商協傘下の販社が中古機をホールに納品するときに中古機移動データの登録が行われ、それが遊技機メーカー（日工組）に出力され、機歴管理センターに登録される。⑤の廃棄情報に関しては、日工組回収システム指定の処理会社経由での廃棄、リサイクル協会指定の処理会社経由での廃棄、遊技機メーカーの下取りまたは買い戻しによる廃棄の3つのケースによるデータ登録が考えられている。スムーズ



新しい機歴管理システムについて協議したセキュリティ対策委員会

ズな実施のためには、個々のホールを特定するためのコードが必要になり、検討することになった。

不正対策室会議

一般情報が回復軌道

不正対策室会議（室長・伊東愼吾日遊協常務理事）は2月12日、日遊協本部会議室で開かれPSIO（不正対策情報機構）への入力状況の報告を行い、委員14人がゴト・不正情報について検討した。

1月のPSIOオープンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は、業界から34件、一般ファンから522件の入力があつた。一般ファンの入力の前月12月の453件より65件増え、昨年9月に300件台に落ちたが、その後少しずつ回復している。ただ昨年1月に比べると、まだ138件（昨年1月660件）減っている。ゴト情報としては、相変わらず旧ミリオングッドなどを中心としたARTゴトが続いている。不正情報では、やはり遊技機に対する不信が多くを占めているが、打ち子の疑惑、パチンコの釘曲げに対する疑惑、不当な広告宣伝なども増えてきている。

## トリビィが廃業脱退 日電協、回胴遊商が報告

日電協、回胴遊商は1月30日、中古機流通協議会宛てに「日電協任意脱退企業の中古機取扱について」と題する文書を発し、パチスロ機メーカー(株)トリビィの日電協脱退と廃業に向けた事務縮小の動きを報告した。内容は、①(株)トリビィが3月31日付けで日電協を任意脱退する ②1月28日現在市場にある同社製の回胴式遊技機は検定機88台、認定機3台 ③同社は脱退後も検定及び認定有効期間中は部品の供給に応じる ④回胴遊商の同社製中古機移動及び認定申請の打刻申請は3月29日提出分までとする—となっている。

これを受けて中古機流通協議会は2月1日、同趣旨の文書を構成団体宛に送付し、会員・組合員への周知徹底を要請した。

## 中部支部セキユリティー対策部会 パチスロのゴト対策

中部支部セキユリティー対策部会が1月30日、名古屋支店・アイリス愛知で開かれ山口悟支部長、内ヶ島隆寛部会長ら20人が参加し、中部遊商からは湊隆昌セキユリティー委員会副委員長ら4人が出席した。

11、12月のゴトは、ほとんどがパチスロのARTを狙ったもので、「ミリオングッド」に対する電波ゴトが目立つと報告され、対策が協議された。そんな中、委員にパチスロメーカーの人がいないのが弱点となっているため、部会の活性化のためにも

参加要請をしていくことになった。今回の部会では本部のセキユリティー対策委員会にも出席しているITコンサルタントの目代純平氏を講師に招くことになった。

## ホール関係5団体風営法WG 分担テーマで意見交換

ホール関係5団体風営法ワーキンググループ(WG)会議は2月12日、全日遊連会議室で開かれ、全日遊連日遊協、同友会、余暇進、PCSAの5団体幹部12人が出席した。各団体が分担して取組んでいるテーマについて意見を出し合った。

## 会員消息・新規入会

### ●代表者・住所変更

▼株式会社  
ウエスタンコーポレーション  
代表取締役・西野耕一郎  
東京都江戸川区中葛西3・34・13  
NHビル2F

### ●住所変更

▼ジョイパックレジャー株式会社  
東京都渋谷区恵比寿南1・1・1  
ヒューマックス恵比寿ビル9F  
TEL03・6890・0707  
FAX03・6890・0722  
2月5日

▼Daichigigグループ  
東京オフィス

東京都中央区銀座3・10・1  
Ginzaiii・D  
BUILDING

# DATASPO T

## 減少に歯止めかからない店舗数

全日遊連は2月27日、店舗数、遊技機台数の2013年1月分を発表した。店舗数は前月比で6店減り、1万1171の店舗数は、昨年1月(1万1332店)と比べて、この1年間で161店の減少となった。1月の店舗数で見ると、この5年間、毎年150店以上減少しており、下降線にストップがかからない。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス7万4471台(昨年1月286万9178台)と下がり続け、一方パチスロ機はプラス10万4759台(昨年1月136万139台)と上昇を維持している。パチスロは前月比で2万8056台増と依然として伸びており、一昨年4月から22か月連続で前月比増を続けている。

<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。球、スマートボールを意味する。

## 貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	236	0
東北	526	-1
東京	544	-3
関東	1556	+8
中部	465	0
近畿	847	+1
中国	283	+2
四国	143	+1
九州	599	+3
全国計	5199	+11

(2013年1月31日現在)

## 全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成25年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	11,171	17	34	118 (11)	2,794,707	1,464,898	156	4,259,761

株式会社大一商会  
管理本部経営企画部  
TEL03・3549・8761  
FAX03・3549・8766

株式会社大一販売  
戦略部企画G  
TEL03・3549・8790  
FAX03・3549・8791

株式会社デイ・ライト  
商品開発本部申請管理部  
TEL03・3549・8774  
FAX03・3549・8775

株式会社デイ・テクノ  
WEB事業部  
TEL03・3549・8767  
FAX03・3549・8771  
2月6日

木下 太郎氏(株式会社広島エース  
電研会長)  
かねてより療養中のところ、1月29日早朝、肝臓ガンで死去。80歳。葬儀は1月31日、近親者のみで執り行った。喪主は妻、英子氏。